



彼方幼稚園だより

大人になったあなたを支えるのは、子ども時代のあなたです

令和8年5月

富田林市立彼方幼稚園

園長 石田 安志



鯉のぼり 雲に乗り 天駆ける龍となれ

新緑が眩しい季節。空には力強く泳ぐ鯉のぼりが見られます。アニメ「日本昔ばなし」の冒頭で龍が雲の間を飛ぶように、古来中国では龍は雲を伴って雨を降らし、命を育む恵みの象徴とされてきました。子どもの成長も同じです。一人で飛ぶのではなく親、友達や先生という「雲」の支えがあってこそ雨（恵み）を降らせる立派な龍になれます。また、我々大人も、ひとりで立派になったつもりでも、周り（雲）とのつながりを忘れてしまった龍は、雨を降らせることができずにただ孤独で後悔することになります。実力があるときにこそ、周りへの感謝を忘れないようにという教訓でもあります。先日、私が所属するソフトボールチームで大きな大会があり、選手が最高のパフォーマンスを発揮するにはどうしたらよいかを考える機会がありました。9回裏2アウトランナーなしの場面。バスケットならラスト3分で10点差の場面。ポジティブシンキングだと「まだ3分もある」になるでしょう。しかしそれでは現実を見ていないし、ありのままの状況に嘘をついているので心は疲弊してしまふ。前も負けて泣いたことがある（過去）。とか、負けたらどうしよう？（未来）などと「今」以外のことに気を取られることなく、今、自分のコントロールができることにだけ集中する。メンタルは「鍛える」と考えがちで、子どもにも試練を与えようと厳しい言葉を使う人がいますが、メンタルは「整える」が正解です。日々の幼稚園生活は、「今、ここ、自分」に心を整えチャレンジするチャンスがいっぱいあります。物事に取り組む心の習慣は、幼児期ほど身につけやすいものです。大人の価値観（マインドセット）や大人の解決方法が子どもに伝わります。

- ◆運動会や発表の本番前・・・結果は考えなくて、今は精いっぱい楽しめるといいね！
- ◆友達と比較して落ち込んでいる時・・・お友達と比べなくてもいいよ。あきらめない姿がいいね。
- ◆失敗して泣いている時・・・起きたことは仕方ない。じゃあ、今からどうやって立て直す？
- ◆早くしなさい。と言われてぐずってる時・・・全部やらなくても大丈夫だよ。靴下だけかっこよく履けるかな？と やるべきことを小さく限定して、集中しやすくして励まします。

育てたいこと

5月のねらい

- 4歳児 ・友達や先生と一緒に、好きな遊びを見つけ、楽しむ。
- ・園生活に慣れ、自分のことは自分でしようとする。

今月のお誕生日のお友達は
いません。

